

製品名: ZIP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20110**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC39A2
別名	SLC39A2; ZIP2; Zinc transporter ZIP2; 6A1; Eti-1; Solute carrier family 39 member 2; Zrt- and Irt-like protein 2; ZIP-2; hZIP2
遺伝子 ID	29986.0
SwissProt ID	Q9NP94
免疫原	抗血清はヒト SLC39A2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

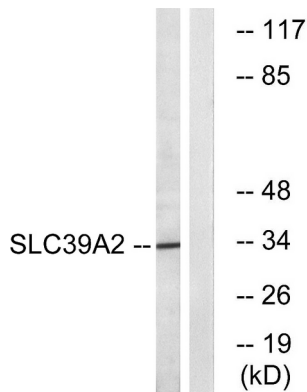
この遺伝子は、金属イオントランスポーターの ZIP ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は亜鉛

トランスポーターとして機能します。この遺伝子の変異は、頸動脈疾患に対する感受性と関連している可能性があります。複数の転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2010年3月]機能: 亜鉛の取り込みを媒介します。亜鉛の取り込みは、Zn(2+)-HCO(3)(-)共輸送機構によって媒介され、アルブミンの存在下で機能します。他の二価カチオンも輸送する可能性があります。正常上皮細胞の接触阻害に重要である可能性があり、その発現の喪失は腫瘍形成に関与している可能性があります。誘導: 正常上皮細胞の接触阻害において劇的な誘導を示します。その他: 亜鉛の取り込みは、pHレベルが7.0未満では阻害され、pHが高いほど刺激され、Cu(2+)、Co(2+)、およびMn(2+)イオンによって著しく阻害されます。Fe(2+)によって阻害されない。類似性:ZIP トランスポーター(TC 2.A.5)ファミリーに属する。組織特異性:前立腺および子宮上皮細胞でのみ発現する。

研究分野

シグナル伝達、代謝、細胞膜、チャネル、疾患の種類、がん

画像データ



SLC39A2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。